

管理所レビュー VOL.02

(H30.5.1 水源林管理所)

4月20日(金)の第2回のボランティア活動日は、春らしい爽やかな空気の中、絶好の天候に恵まれ、予定どおりに間伐作業を実施することが出来ました。皆様、大変お疲れ様でした。

今年の作業地内には、大径木のスギやヒノキの間伐予定木が数多くあります。

間伐作業は、大変危険を伴う作業です。特に大径木の伐倒には注意が必要ですので、これからも基本に忠実に、安全第一を心掛けた作業をお願いします。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

1 73名のご参加、ありがとうございます。



絶好の間伐日和となりました。



準備体操でケガ予防。



今日も安全作業をお願いします。

2 作業の様子とワンポイントアドバイス。



作業の安全を願って。



大事です。周りの人のアドバイス。



ツルが有効に働いています。



アカマツへの接触は避けて。



伸びのある木の伐倒には注意。



太くて重いヒノキの玉切りは要注意。



玉切り後の材の落下に注意。



体勢を安定させる事が大切です。



獣害フェンスの破損を避けましょう。

3 急傾斜地での作業は要注意！

現在の作業地内の急傾斜地には、まだ数多くの間伐予定木が残っています。

急傾斜地での伐倒作業や玉切り作業、伐採木の運搬などは大変危険ですので、十分注意して作業してください。

◆急傾斜地での注意事項

- ①伐倒方向は、横 or 斜め下とする。(原則、真下への伐倒は禁止。)
- ②斜面上部と下部で同時に作業を行わない。(上下作業の禁止。)
- ③あらかじめ退避場所を決めておく。(退避場所が限定されるため。)
- ④折れ枝などの落下物に注意する。(瞬時の移動が困難なため。)
- ⑤足場の安全確保を行い、作業員自身の転落に注意する。



安全確保が最優先。

4 精鋭による「道作り」が実施されました。

今回の「道作り」は、4班と5班の境から7班と8班の境に上る作業道の補修と新設を行ないました。杭打ちなどの慣れない作業で大変だったと思いますが、歩きやすい道が出来ました。

参加いただいた皆さん、お疲れ様でした。



「道作り」に参加の皆さん。



杭打ちは、狙いを定めて。



歩きやすい階段が出来ました。

※ 次回の第3回の活動においても5名による「道作り班」の編成をお願いします。

5 ご参加、ありがとうございます。

今回の活動に、株式会社サンコウ様から3名、宮本土木株式会社様から4名、メタウォーターサービス株式会社様から2名が参加されました。

横浜の水源である道志村の民有林をより良い水源林とするこの活動が、環境貢献活動に積極的に取り組まれている企業、団体様などの参加により、ますます広がることを期待します。

参加された皆さん、親切、丁寧に指導して下さったボランティアの会の皆さん、ありがとうございました。



株式会社サンコウ様。
(掲載許可済み)



宮本土木株式会社様。
(掲載許可済み)



メタウォーターサービス株式会社様。
(掲載許可済み)

※ 5月9(水)は、晴れ、最高気温19度、降水確率40%の予報となっています。

※ 出発前には、最新の天気予報をご確認ください。

★それでは5月9日、気をつけてお越しください。